

にじぐみだより 1 月

令和3年1月4日(月)
尚徳福社会 井荻保育園

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

お正月は家族みんなで楽しく過ごせたでしょうか?にじ組の生活も残すところ3か月となりました。残りの時間子どもたちと楽しく過ごしていきたいと思っています。本格的な冬を迎え、更に感染症に警戒しなければいけない季節です。引き続き健康管理、安全対策に取り組んでいきたいと思ひます。

にじ組では折り紙を自分の力で折れる子が増えてきて、ハートのリースの鳥、飛行機など日に日にバリエーションが増えていっています。園庭では太鼓橋を渡る子ども達、最初恐る恐る泣きそうになりながらも、それでも頑張ろうとする姿が、少しずつ実を結び、渡りきる事ができた時の満足感が、次への自信に繋がります。

新年を期に新しいことに次々とチャレンジして行って欲しいと思ひます。



子ども同士の関わり

友達との関わりの中で、自分の要求がすべて通るわけではない事、相手にも思ひがある事など、子ども同士でのやり取りを通じて社会性を身に付けているにじ組。怪我など危険が伴う時は別ですが、言葉での言い合いの時はしばらく見守り、必要に応じて互いの言葉を代弁しています。トラブルの中で不適切な日本語を使う姿もあり、テレビや大人の使う「悪い言葉」も簡単に覚えて使うようになります。言われたら嫌な気持ちになる事があることもわかるように、関わりを大切にしていきたいものです。



にじこのつばやき

○保育者・・・「これには青のりついているね。」

A君・・・「あおもり」??

Bちゃん・・・「こうもり?」

○先月の、おたのしみ会当日はにじ組だけで席をくじ引きで決めました。

「この席いつもと違う、座って食べるとおいしい・・・」(いつもと違う席が嬉しかったようです)

○お散歩の途中

保育者・・・「車来ていますよ気を付けて。パンツだね」

H君・・・「え?パンツ?」

今月のねらい

- 身の回りのことを意欲的に行う。
- 寒さに負けず冬の遊びを楽しんだり、自然現象の不思議さに触れる。



お正月の遊びの由来

- 凧揚げ・・・凧が高く上がるほど子どもが健やかに成長するといわれています。
- こま「お金がまわる」、「物事が円滑に回る」ことにかけて縁起物とされています。
- だるまおとし・・・転ばないように、新たな1年に災いや困難がないようにと願いを込めて遊ばれるようになりました。

